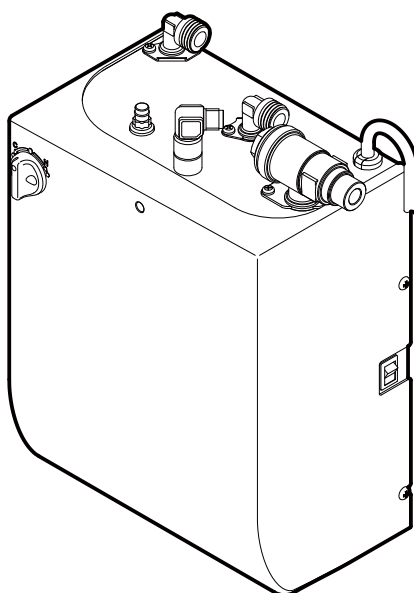


工事要領・取扱説明書

製品名：小型電気温水器

型 式：ESW03 (D)



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡してください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

※この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
ESW03(D)について	5
ラインナップ	5
各部名称および寸法図	5
仕様	6
工所要領	8
施工前にご確認ください	9
1. 部品の確認	9
2. 設置場所の確認	10
施工する	11
1. 設置工事	11
2. 配管工事	13
3. 電気工事	15
4. 施工後の確認	15
試運転を行う	16
1. 温水器に給水する	16
2. 試運転を行う	18
3. 試運転後の確認	19
取扱説明	20
使用方法	21
1. 使用前の準備と確認	21
2. 運転する	21
3. 出湯温度の変更方法	22
4. 出湯する	22
5. 出水する	22
お手入れの方法	23
保守点検項目と実施の目安	23
長期間使用しないときは	23
短期間使用しないときは	25
凍結防止対策	25
逃し弁の動作確認	26
ストレーナーの清掃	27
外装のお手入れ	29
こんなときは	30
故障かな？と思ったら	30
前面カバーの取り外し方法	32
リセットの方法	33
アフターサービス	34
消耗品について	34
補修用性能部品について	34
メンテナンス契約について	34
修理をご依頼の際には	34

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために
守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みにになり、内容をよく理解され
た上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

-  **警告** この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。
-  **注意** この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



○の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
○の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項：必ずお守りください

 警告	
	アース(D種接地)工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
	定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には±10%以内の環境でお使いください。 故障、火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、故障やケガの原因となります。
	屋外に設置しないでください。 感電、故障の原因となります。
	設置時、リセット操作時、メンテナンス作業時以外は前面カバーを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 腐食や感電、故障の原因になります。
	水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント(電源プラグ付機種の場合)を設けないでください。 腐食や感電、故障の原因になります。
	タンク内の湯温が高い場合には絶対に排水しないでください。 配管が破損して、やけどしたり漏水するおそれがあります。

⚠警告



給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、水栓金具に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。

逃し弁点検時は、逃し弁本体や配管に手を触れないでください。
やけどのおそれがあります。

⚠注意



機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因となります。

機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。
落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。

水道水(上水)以外は使用しないでください。
井戸水などを使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、漏電の原因となります。

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによっ
て水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は使用
しないでください。
健康を害するおそれがあります。



満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。
落下・故障の原因となります。

給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。
漏水の原因となります。

配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。
漏水の原因となります。

機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ(切削粉、砂、シールテープ等)を除去する
ため、止水栓を開きフラッシングしてください。
故障や漏水の原因となります。

満水にしてから通電してください。
故障の原因となります。

飲用する場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。
健康を害するおそれがあります。

床面に防水、排水処理を施してください。
漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

規定の給水圧力(静止圧)にてご使用ください。
誤動作、故障の原因となります。

定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。
万一動作不良を起こした場合、タンクが破損したり事故の原因となります。

本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対
しヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください
凍結により破損、漏水のおそれがあります。

長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。
水質が悪化するおそれがあります。

BCH(使用時のみ)および排水管に閉塞や異常がないことを確認してください。
故障や漏水の原因となります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ本体を持って抜いてください。
感電、発火のおそれがあります。

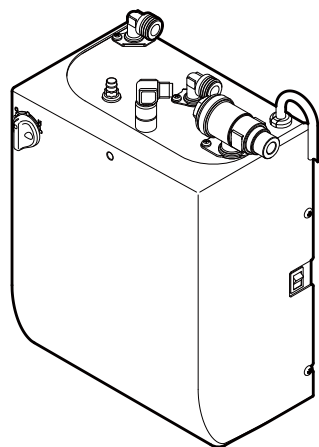
ESW03(D)について

本製品は約 75℃に沸かし上げたお湯を水と混合して約 37℃(工場出荷時)の安全な温度で出湯する超小型の壁掛型電気温水器です。

ラインナップ

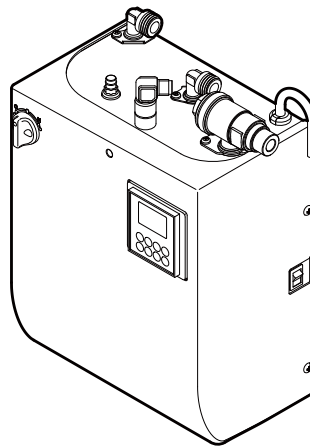
ESW03ATX(D)

シンプルな標準タイプ。

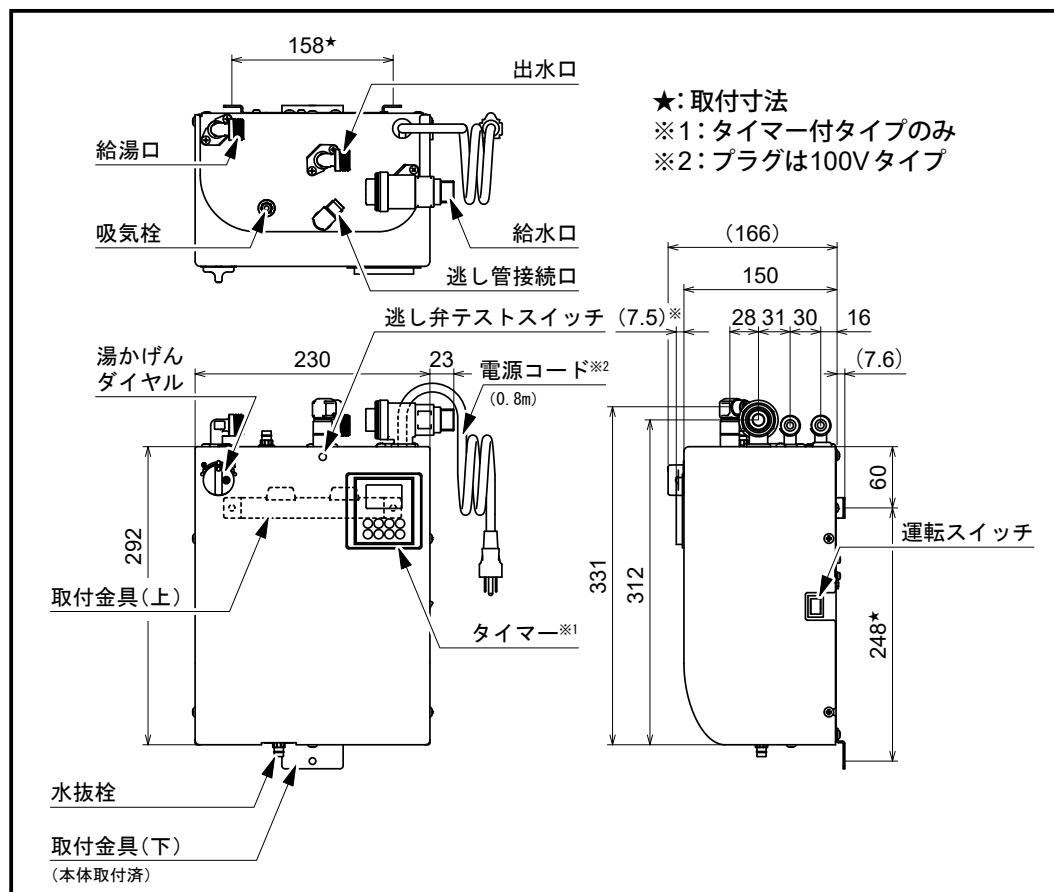


ESW03TTX(D)

便利なデジタルタイマーが付いたタイプ。



各部名称および寸法図



仕様

型式		ESW03(D)	
型番		ESW03ATX(D) (タイマ無)	ESW03TTX(D) (タイマ有)
貯湯量		約 3L	
定格	電圧	単相 100/200V	
	周波数	50/60Hz	
	消費電力	0.6kW	
設定温度(沸かし上げ温度)		約 75℃	
出湯温度(調節目安範囲)		約 37℃ ^{※1※2} (± 3℃)	
外形寸法 D × W × H		(166)mm × 230mm × 292mm ^{※3}	
満水質量		約 7.0kg	約 7.3kg
使用条件	設置環境温度	0 ~ 40℃(凍結しないこと)	
	一次側使用水温	30℃ 以下(凍結しないこと)	
	使用水压(静止時)	0.1~0.5MPa	
	最高使用圧力	0.1MPa	
	設置場所	屋内	
主要部品	ヒーター	シーズヒーター	
	逃し弁	97kPa	
	減圧弁	85kPa	
	電源コード	0.8m	
	電源プラグ	差込型 / 接地 2P 125V/15A 	引掛形 / 接地 2P 250V/20A 
対応コンセント (パナソニック品番)		WK3001W WF3002EK 	WF2520B/W WK2520B/W 
安全装置		空焚き検出、過昇温検出	
接続口径	給水口	G1/2(おねじ)	
	給湯口	G1/2(おねじ)	
	出水口	G1/2(おねじ)	
	逃し管接続口	M14 × 1.0	
	水抜栓	適合ホース内径 9mm	

※ 1: お湯の出はじめに瞬間的に温度が高くなる場合があります。(約 43℃)

※ 2: 沸き上がり温度: 75℃、給水温度: 15℃ 時、出湯流量: 3L/min 時

※ 3: () 内寸法は湯かげんダイヤルを含めた寸法です。(P.5『各部名称および寸法図』参照)

共通項目

MEMO

工事要領

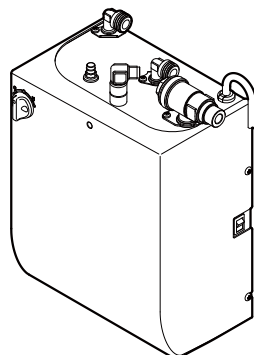
正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

本体



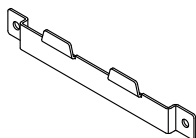
各型番の違いはP.5参照

付属品(型番により異なるもの) タイマー付タイプ

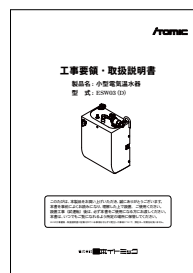


デジタルタイマー取扱説明書×1
(工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)

付属品(全型番共通)



取付金具(上)



工事要領・取扱説明書×1
(この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)

【お客様にてご手配ください】

お客様手配品 (→ P.14『標準配管図』参照)

- ①漏電ブレーカ・・・万一の故障や漏電した際の事故を防止します。(30mA、0.1秒)
- ②プラスチックアンカー・・・温水器を取り付ける際に必要です。(3本)
- ③木ねじ・・・・・・・・温水器を取り付ける際に必要です。(3本)
- ④ステンレスフレキ管・・・配管するために必要です。
- ⑤止水栓・・・・・・・・排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。
- ⑥水栓・・・・・・・・出湯するため必要です。
- ⑦パッキン・シールテープ・・・配管接続部分から漏水させないために必要です。パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。

関連商品 (→ P.14『標準配管図』参照)

ブローキャッチャー・・・簡単な工事で設置可能な膨張水排出装置です。

2. 設置場所の確認

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結の可能性がある場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防処置を施してください。	☐
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことができません。	☐
取付壁面	垂直な壁面ですか？ 垂直でない場合はお取り付けいただけません。	☐
	満水質量に耐えられる壁面ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	☐
配管距離	水栓までの距離が2m以内に収まる場所ですか？ 放熱ロスを防ぐため、給湯配管は最長でも2m以内におさえてください。	☐
給水圧力	給水圧力は0.1～0.5MPaの範囲内ですか？ 温水器が正しく動作しませんので、必ず上記の範囲の給水圧力があることを確認してください。	☐
電圧	定格電圧の±10%以内ですか？ 電圧が範囲内に収まっていないと、性能を十分に発揮できない場合や、故障・火災の原因にもなりますので、一時変動がある場合にも定格電圧の±10%以内の電圧であることを確認してください。	☐

ESW03(D)型の離隔距離

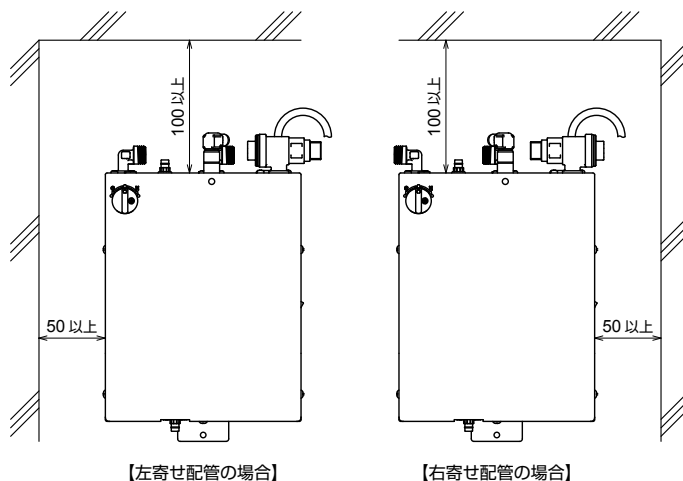
本製品は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

※必ずメンテナンススペースを確保してください。メンテナンススペースが取られていないと、修理や点検の際に製品を取り外すことが出来ません。

消防法 基準適合 組込形	
場所	離隔距離 (cm)
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

ESW03(D)型のメンテナンススペースについて

右図にしたがって、配管向きに応じたメンテナンススペースを設けてください。



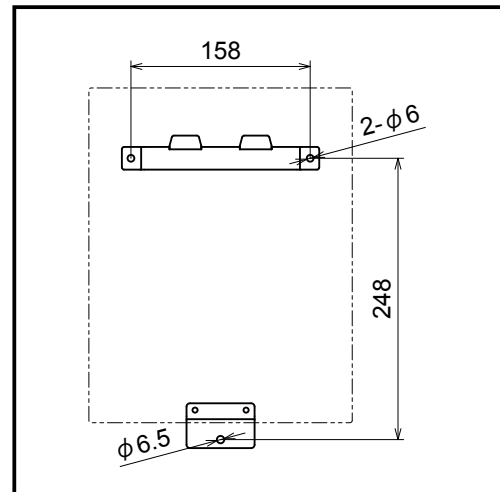
施工する

1. 設置工事

電気温水器の設置

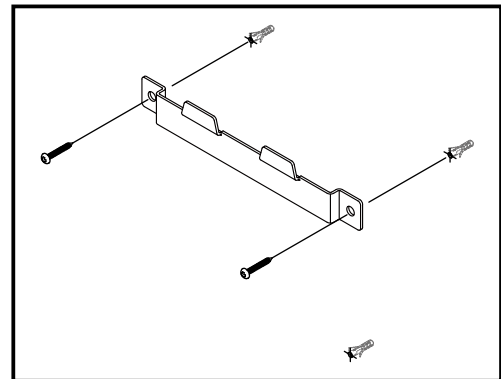
- ① 温水器を取り付ける位置を決定し、取付木ねじ位置に印をつけます。
- ② 印をつけた位置 3ヶ所に下穴を開け、プラスチックアンカー※（お客様手配品）を打ち込みます。

※推奨プラスチックアンカー
…フォーエース 4A-628K(日本ドライビット製)

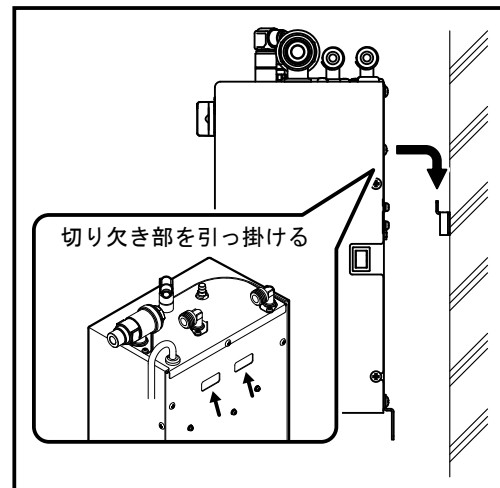


- ③ 上側 2ヶ所に打ち込んだプラスチックアンカーに木ねじ※（お客様手配品）で取付金具（上）を取り付けます。

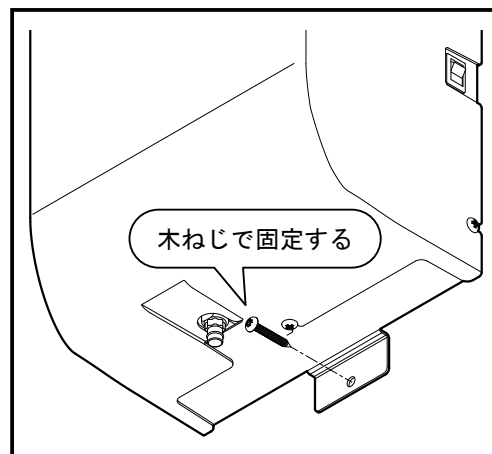
※推奨木ねじサイズ…φ3.8×32



- ④ 温水器背面の切り欠き部に取付金具（上）を挿しこみ、温水器を引っ掛けます。



- ⑤取付金具(下)を木ねじ(お客様手配品)で固定します。



2. 配管工事

- ① 給水一次側にお客様手配品の止水栓を取り付けてください。
- ② 各配管接続口についているキャップを取り外して配管を行ってください。

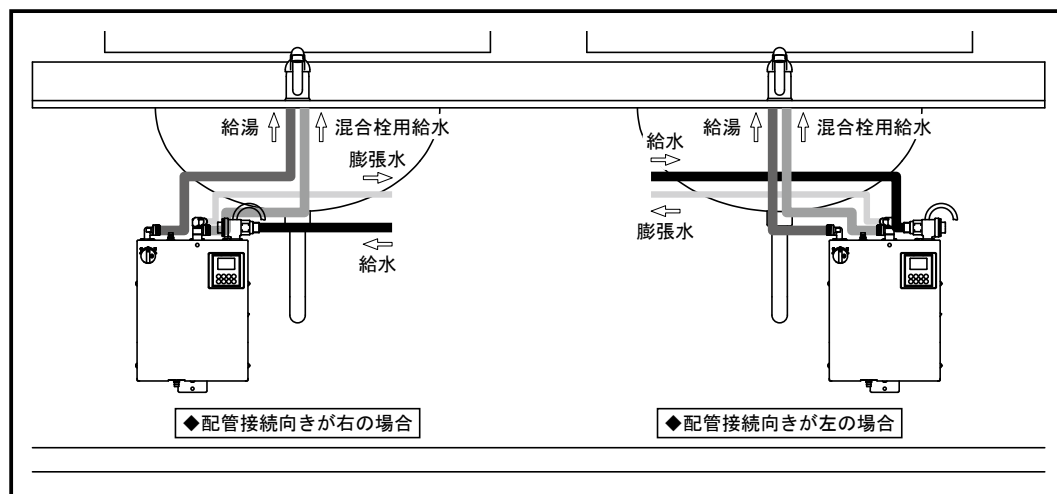


- 湯切れや偏流を避けるため、給湯口数(給湯栓数)は温水器の給湯能力に見合った個数にしてください。
- 膨張水の処理は当社のブローキャッチャー(BCH)もしくは間接排水にて行ってください。BCH使用時は漏水防止のため、必ず閉塞や異常がないことを確認してください。
- 放熱ロスを防ぐため、給湯配管は最長でも2m以内におさえ、保温工事を行ってください。
- 袋ナットやユニオンを使用して、メンテナンスや修理の際に取り外せるようにしてください。また、配管接続部は漏水防止のためパッキンまたはシールテープを使用してください。
- 負圧となるため給湯加圧ポンプの使用や、温水器より低い場所(階下など)への給湯はしないでください。
- 本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防措置を施してください。

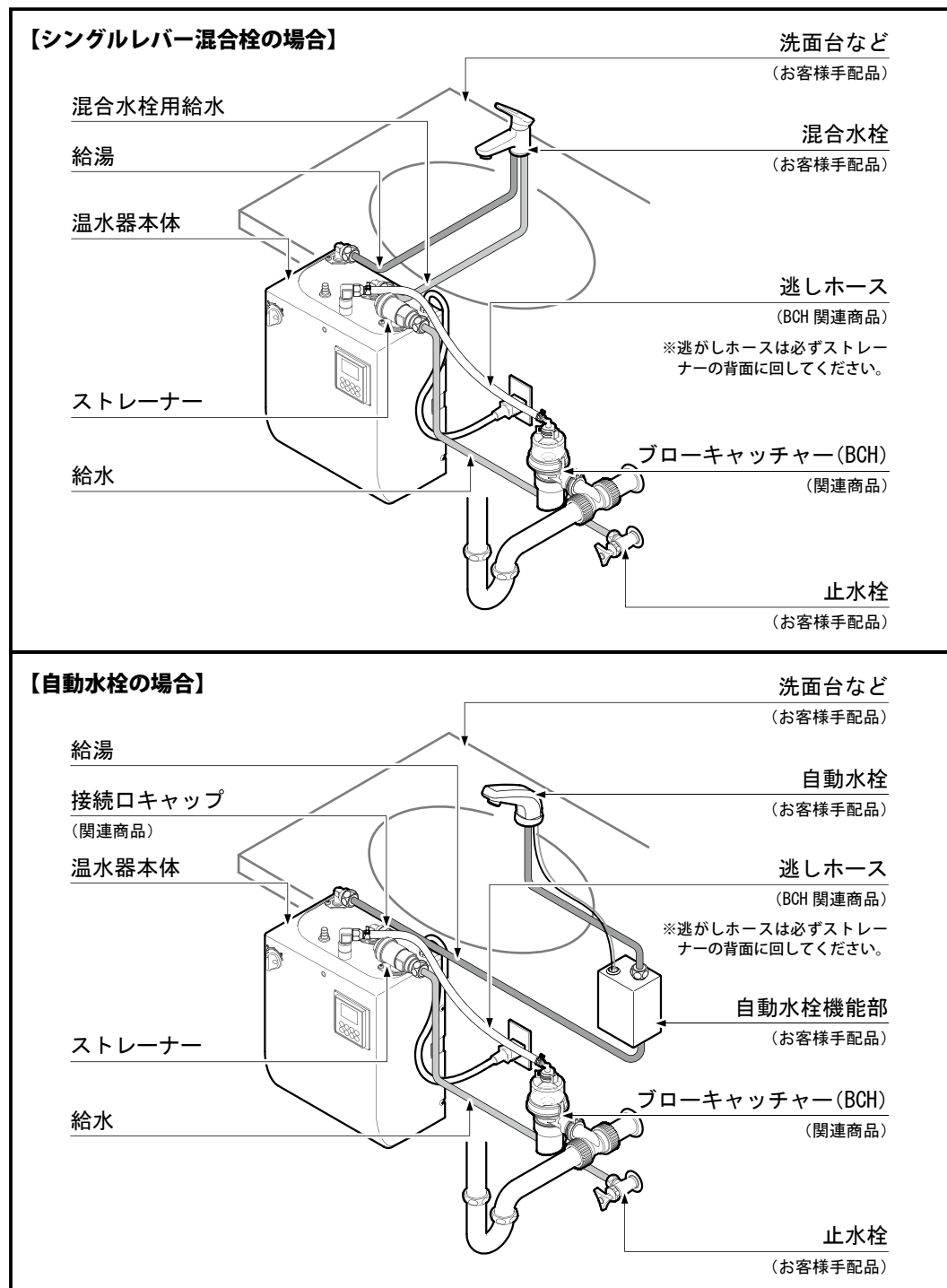
配管接続向きについて

ESW03(D)の配管接続口(給水口・給湯口・出水口・逃し管接続口[※])は左右に回転可能です。設置状況に応じて配管接続向きを変更してください。

※逃し管接続口の向きを変更する際は、根元のホースバンドをゆるめてから行ってください。



標準配管図



- ※ 1: 膨張水排水処理は弊社関連商品のブローキャッチャー (BCH)、または間接排水にて行ってください。
 ※ 2: ブローキャッチャー (BCH) の施工詳細は、ブローキャッチャー (BCH) 付属の工事要領、取扱説明書をご参照ください。
 ※ 3: 自動水栓の施工詳細は、自動水栓の工事要領書、および取扱説明書をご参照ください。
 ※ 4: ES03 (D) は適温出湯型のため、自動水栓は単水栓タイプのものをご使用ください。

3. 電気工事

①電源一次側にお客様手配品の漏電ブレーカを取り付け、D種接地工事を行ってください。

4. 施工後の確認

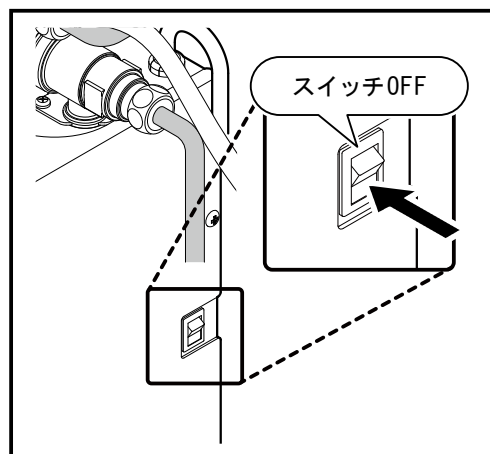
チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置工事	温水器にがたつきはありませんか？	☐
	給水管や給湯管の接続部分にゆるみはありませんか？	☐
配管工事	BCH(使用時のみ)や排水管に閉塞や異常はありませんか？	☐
	漏電ブレーカは正しく作動しますか？	☐
電気工事	D種接地工事は正しく行われていますか？	☐

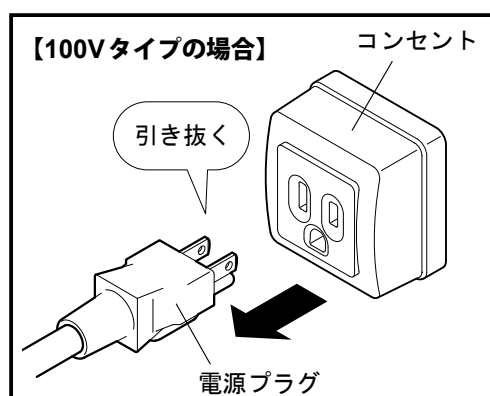
試運転を行う

1. 温水器に給水する

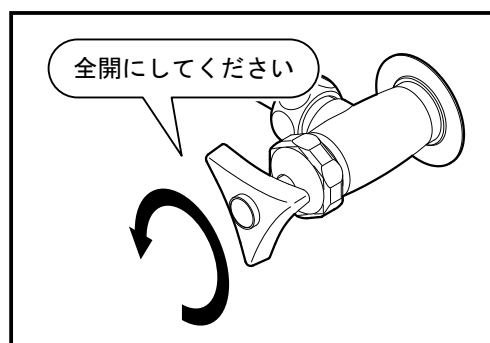
- ① 運転スイッチがOFFになっていることを確認してください。



- ② 電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。
外れていない場合は、電源プラグをコンセントから外してください。



- ③ 止水栓を全開にしてください。

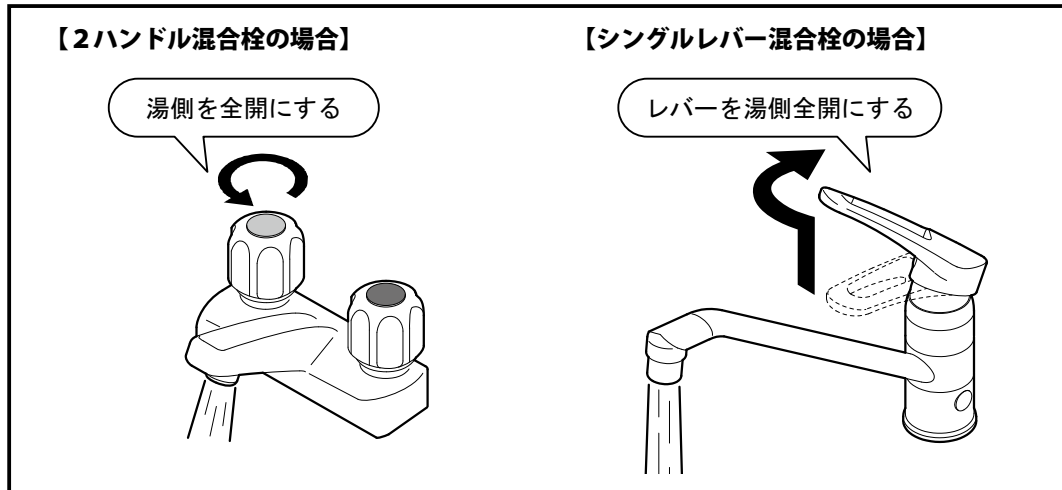


工事要領

試運転を行う

- ④ 混合水栓の湯側を全開にし、水の量が安定するまで流し続けます。
(温水器のタンクが満水になるまでは空気を含んだ水が出ます。)

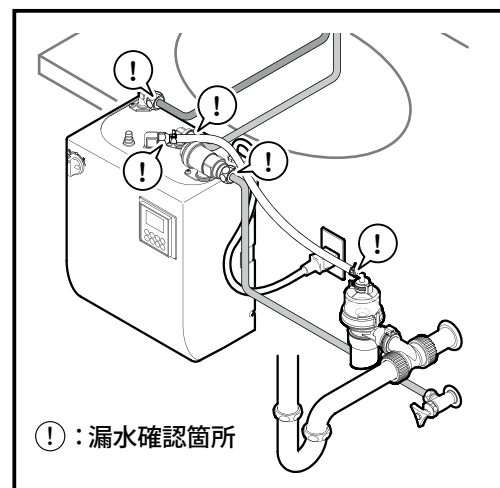
水の量が安定したら配管の汚れをタンク内から排出するため、そのまましばらく流し続けてください。



自動水栓をご使用の場合は、水の量が安定しているかを確認してください。
(温水器のタンクが満水になるまでは空気を含んだ水が出ます。)

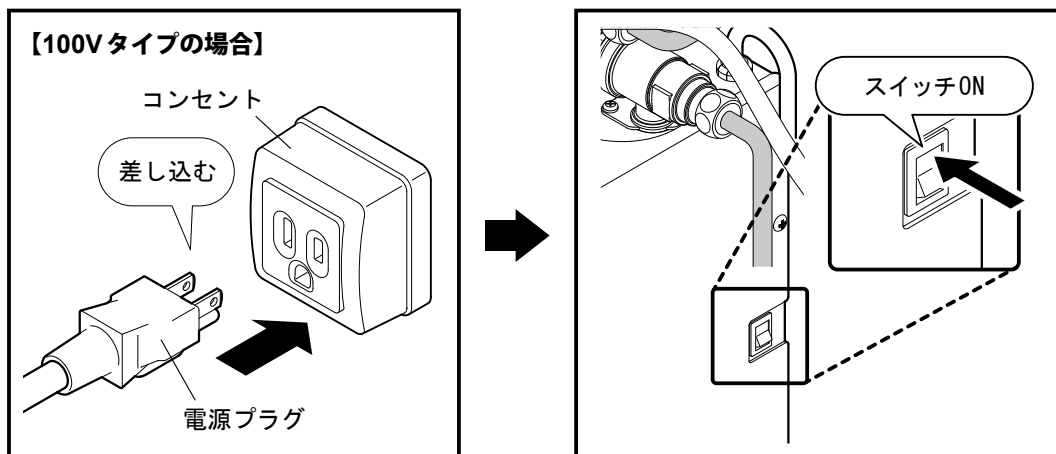


- ⑤ 混合水栓を閉め、温水器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。



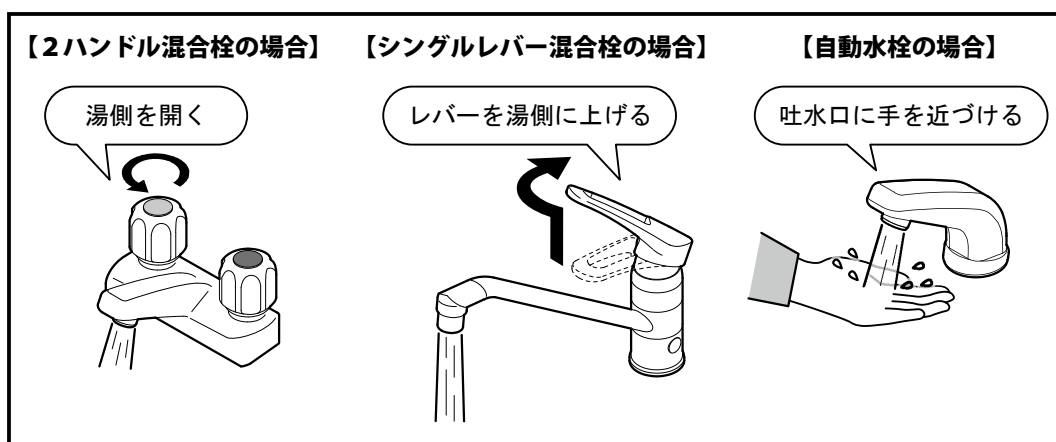
2. 試運転を行う

①電源プラグをコンセントに差し込み、温水器右側面にある運転スイッチをONにしてください。



②しばらくした後*に水栓からお湯が出ることを確認してください。

※運転スイッチをONにしてから沸かし上がるまでは多少時間がかかります。(P.19『沸き上がり時間の目安』参照)



工事要領

試運転を行う

沸き上がり時間の目安

定格電圧	貯湯量(リットル)	標準ヒーター 容量(kW)	沸き上がり時間※ ¹			使用範囲の 目安(人)※ ²
			給水温			
			5℃	15℃	25℃	
単相 100V	約 3	0.6	22分	19分	16分	約 14
単相 200V						

※1:沸き上がり時間の算出:沸き上がり温度 75℃の場合。

※2:使用範囲の目安:1人当たり0.5リットル、37℃にて算出。(給水15℃、沸き上がり温度 75℃)

3. 試運転後の確認

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
漏 水	各配管、継手に漏水はないですか？	☐
ストレーナー	ストレーナーの中にゴミ詰まりはないですか？ 試運転後はP.27を参照し、ストレーナーの清掃を行ってください。	☐
給 湯	給湯栓を開くとお湯が出ますか？	☐

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法

1. 使用前の準備と確認

ご使用前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

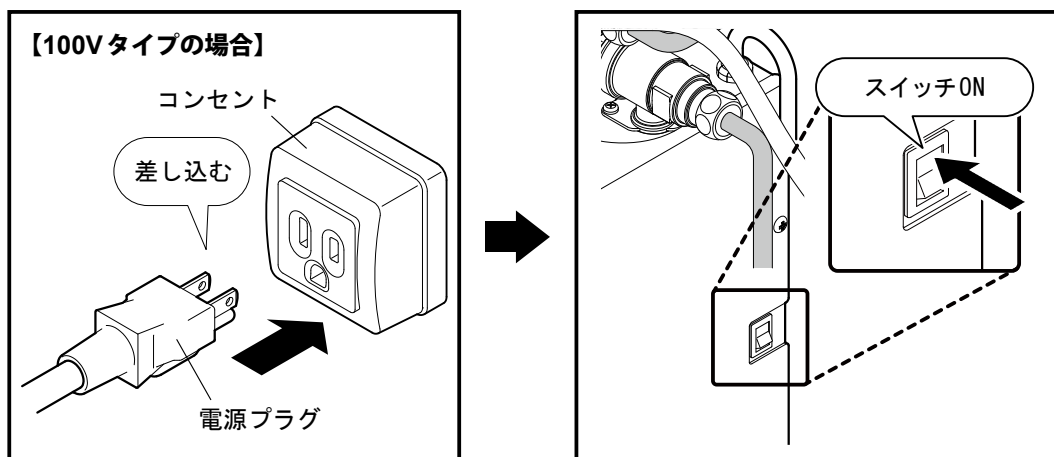
項 目	チェック内容	チェック
本体まわり	近くにガス類や引火物がないですか？	☐
	本体の上には物などを載せていませんか？	☐
	逃し管接続口から吹き出し続けていませんか？（→ P.26『逃し弁の動作確認』参照）	☐

2. 運転する

① P.16『温水器に給水する』を参照し、温水器に給水してください。

② 電源プラグをコンセントに差し込み、温水器右側面にある運転スイッチをONにしてください。

タイマー付のESW03TTX(D)をお使いの場合は、運転スイッチをONにすると工場設定の自動運転【おすすめプログラム】（下記「タイマー運転について」参照）で運転を始めます。



タイマー運転について (ESW03TTX(D)のみ)

ESW03TTX(D)は、組み込まれたデジタルタイマーに汎用的な運転設定「おすすめプログラム」が工場出荷時にインプットされています。運転開始時は、この「おすすめプログラム」で設定されたスケジュールに沿って運転を開始します。（機能と操作方法については、付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。）

おすすめプログラム運転設定	
運転曜日	月～金曜日
運転時間	6:30 ～ 18:30

3. 出湯温度の変更方法

出湯温度は、本体前面にある湯かげんダイヤルを操作することで一定の範囲内での調節が可能です。

調節範囲の目安は下記目安を参照してください。

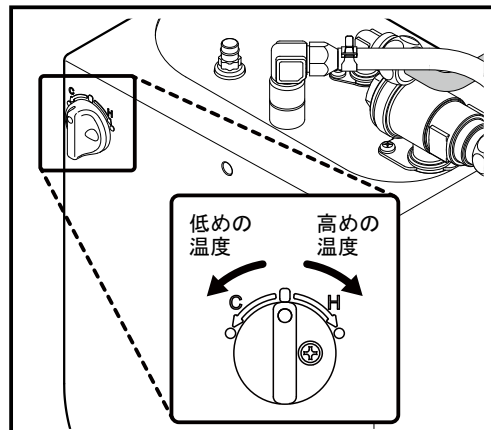
【出湯温度調節範囲内の目安】

34℃(下限) ～ 40℃(上限)

※沸き上がり温度：75℃、給水温度：15℃時

出湯流量：3L/min時

※給水温度やタンク内の温度、出湯流量によって出湯温度は変動します。



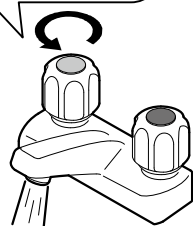
4. 出湯する



本器は減圧弁を搭載しているため、圧力や流量が必要な水栓では、シャワーにならないなど使用感が悪くなる場合があります。また、複数シンクへの同時給湯は流量が低下するためおすすめできません。

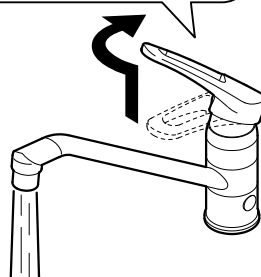
【2ハンドル混合栓の場合】

湯側を開く



【シングルレバー混合栓の場合】

レバーを湯側に上げる



【自動水栓の場合】

吐水口に手を近づける

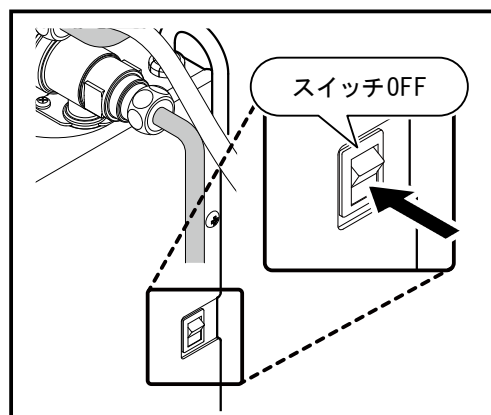


※水栓の操作方法は、取り付けた水栓の取扱説明書をご参照ください。

5. 出水する (自動水栓を使用する場合のみ)

夏場などお湯を必要としない場合は、運転スイッチをOFFにしてください。

スイッチをOFFにした直後は、タンク内にお湯が残っているためお湯が出ますが、時間がたつと水に変わります。



お手入れの方法

保守点検項目と実施の目安

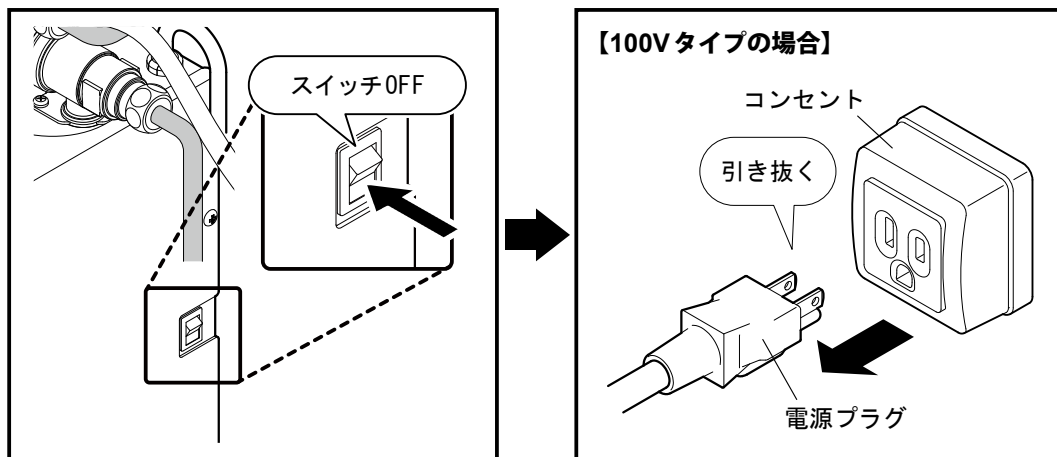
点検項目	点検内容	点検の目安
重要 逃し弁の動作確認	逃し管から常時水が出ていないか確認してください。(P.26『逃し弁の動作確認』参照)	1回/月
コードおよびプラグの点検	コードが熱を持っていないこと、損傷および劣化していないこと、プラグの締め付け部にゆるみなどの異常がないことを確認してください。トラッキング現象による火災防止のために一次側ブレーカをOFFにし、コンセント周囲やプラグを乾いた布等で清掃してください。	
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部から漏水のないことを確認してください。	1回/日
タンク内部の清掃	給湯栓を全開にして、タンク内の水を強制的に入れ替えてください。	1回/年

注) 長期間ご使用にならない場合は水質変化防止のため、P.23『長期間使用しないときは』をご参照の上、タンク内の湯を排水してください。

長期間使用しないときは

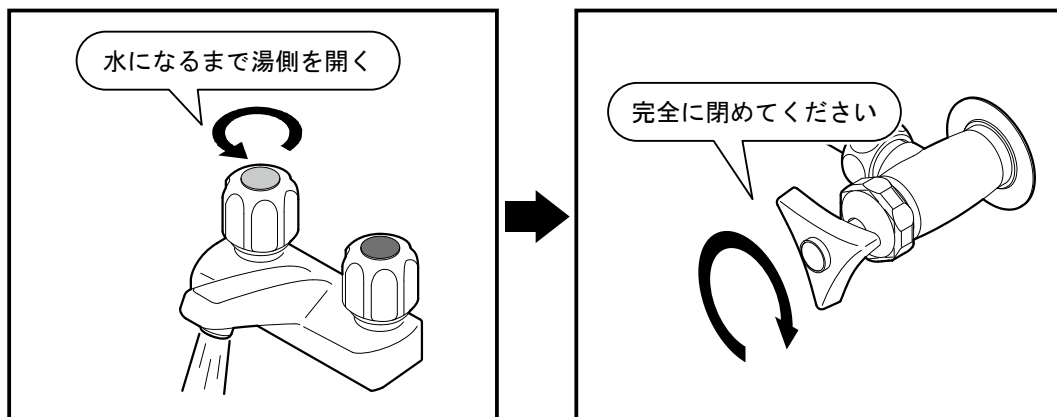
長期間、温水器および水栓をご使用にならない場合には水質劣化を防ぐため、下記の手順に沿ってタンク内のお湯を抜いてください。

① 運転スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜きます。

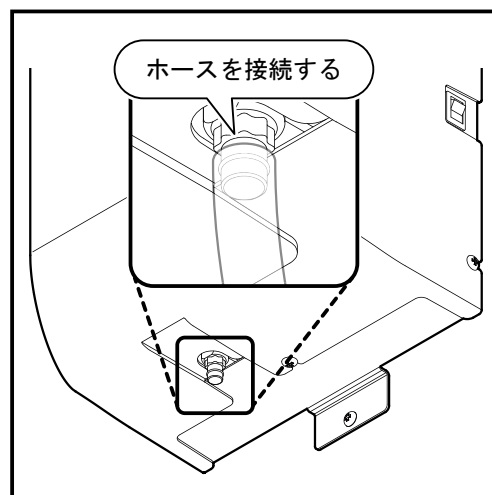


② 水になるまで水栓から出湯します。

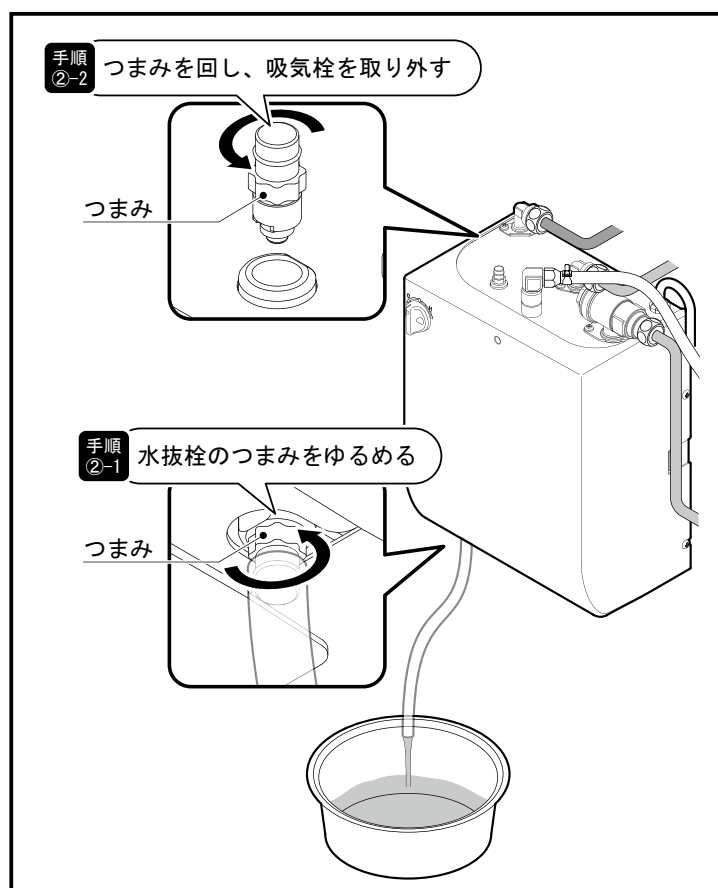
水栓からのお湯が水になったら、水栓を閉め、止水栓を完全に閉めます。



- ③本体下部の水抜口にホース(お客様手配品:適合ホース内径 9mm)を奥までしっかりと差し込みます。



- ④水抜栓のつまみをゆるめて※から、吸気栓を取り外してください。排水が開始されます。(排水の際は容器から水があふれないようご注意ください。)
※水抜栓は回しすぎると外れてしまいますのでご注意ください。
- ⑤排水が終了したら水抜栓を閉め、吸気栓を取り付けてください。



※上記の方法で水が抜けにくい場合は、アフターサービス窓口までお問い合わせください。

短期間使用しないときは

短期間温水器を使用しない場合には、状況に応じてそれぞれ下記の対処を行ってください。

- ご使用を停止する場合
 - ・運転をOFFにしてください。
 - ※タンクが負圧となり破損する原因となるため、止水栓を閉めないでください。
- 停電の場合
 - ・温水器の操作、止水栓の開閉など、機器や配管に対処する必要はありません。
 - 停電からの復旧をお待ちください。
- 断水の場合
 - ・止水栓を閉め、断水が終了するまでお待ちください。
 - ※タンクが負圧となり破損する原因となるため、運転をOFFにしないでください。

凍結防止対策

凍結のおそれがある場合は次のどちらかの方法にて機器の凍結予防措置を行ってください。

＜機器の運転を継続しつつ凍結を予防する場合＞

機内温度を氷点下にしないために、機器の通電を継続し沸かし上げを続けてください。また、凍結の可能性のある場所では各配管に対し、ヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。

＜機器の運転を停止し凍結を予防する場合＞

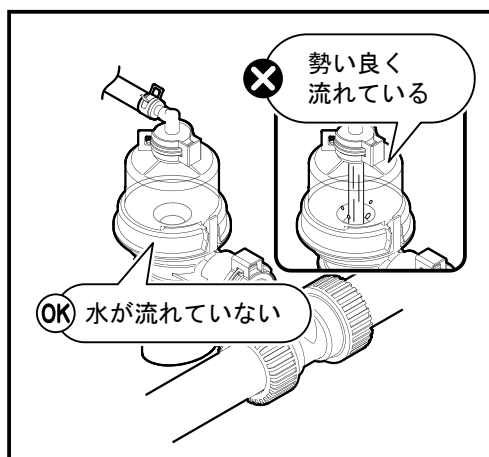
- ① P.23「長期間使用しないときは」の手順に従い、温水器内の水を抜きます。
 - ※排水が完了した後も水栓、排水栓、吸気栓は開けたままにしてください。
- ② 給水口の給水配管を外す、もしくは給水口手前（一次側配管）の水抜き栓を開けてください。
 - ※水抜き後、給水口の配管を外した場合は外したままにし、水抜き栓を開けた場合は閉めずに開放しておいてください。
 - ※水抜きが完全ではない場合には温水器内部に水が残り、凍結により破損してしまう可能性があります。
- ③ 再使用時には排水栓、吸気栓を閉めてください。また、外した給水配管や水抜き栓も閉めてください。
- ④ P.16「温水器に給水する」の手順に従ってください。
 - ※機器内のタンクを満水にしてから機器の運転をしてください。故障の原因となります。

逃し弁の動作確認

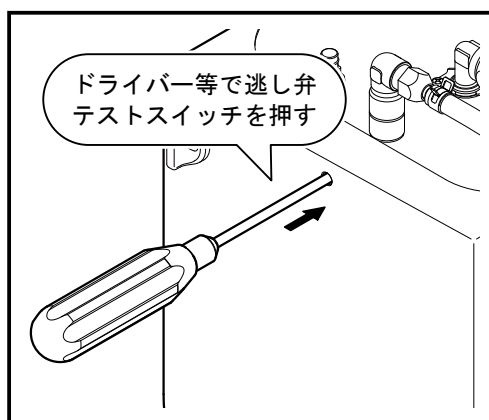
逃し弁が作動しなくなるとタンクの破損や事故の原因となります。定期的に逃し弁の動作確認を行ってください。

運転停止中の確認

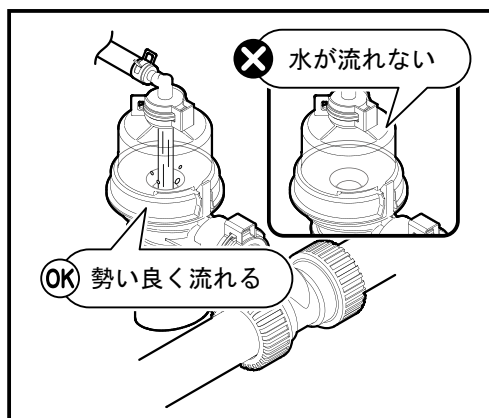
- ①膨張水が流れていないことを確認してください。



- ②逃し弁テストスイッチをドライバー等で押してください。



- ③逃し弁テストスイッチを押している間、勢い良く水が流れることを確認してください。

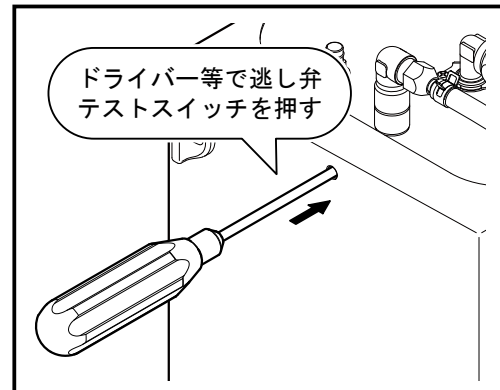


運転中の確認

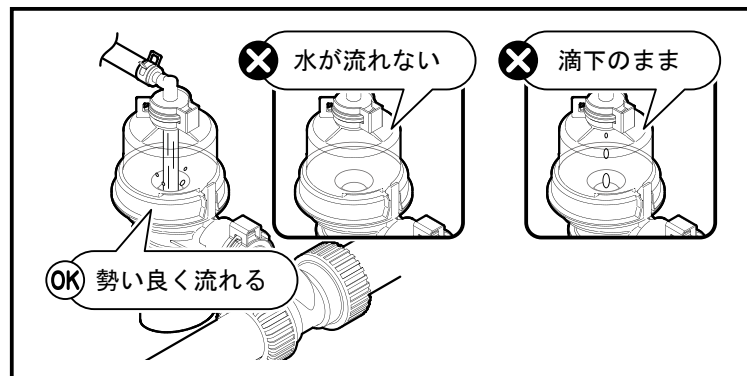
①膨張水が滴下していることを確認してください。



②逃し弁テストスイッチをドライバー等で押してください。



③逃し弁テストスイッチを押している間、勢い良く水が流れることを確認してください。



逃し弁の内部にゴミが付着すると正常に動作しなくなる場合があります。そのようなときは逃し弁テストスイッチを押し続け、しばらく水を流した後で再度確認を行ってください。

ストレーナーの清掃

ストレーナーにゴミが詰まるとタンク内への給水量が少なくなり、機器の故障の原因となります。水栓から出るお湯(水)の量が少なくなりましたら、清掃を行ってください。

清掃前の準備

① P.23『長期間使用しないときは』をご参照の上、排水を行ってください。

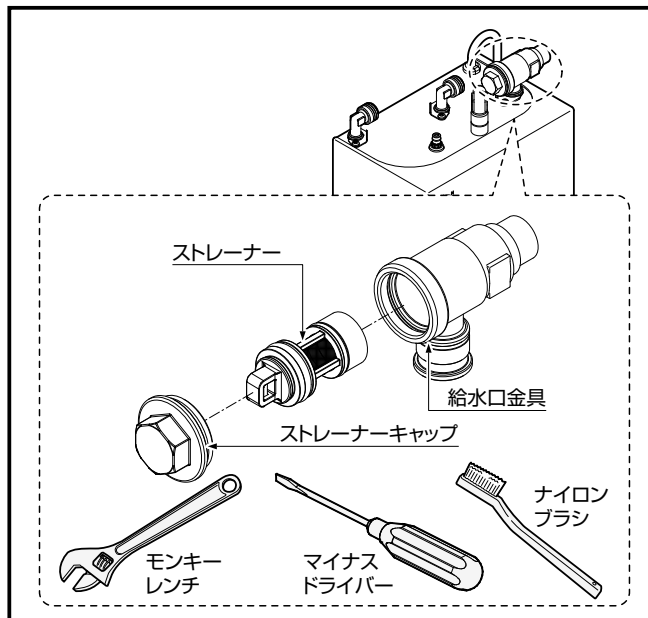
②以下のことを確認してください。

- 運転スイッチがOFFになっている。
- 電源プラグがコンセントから外れている。
- 止水栓が閉まっている。

清掃を行う

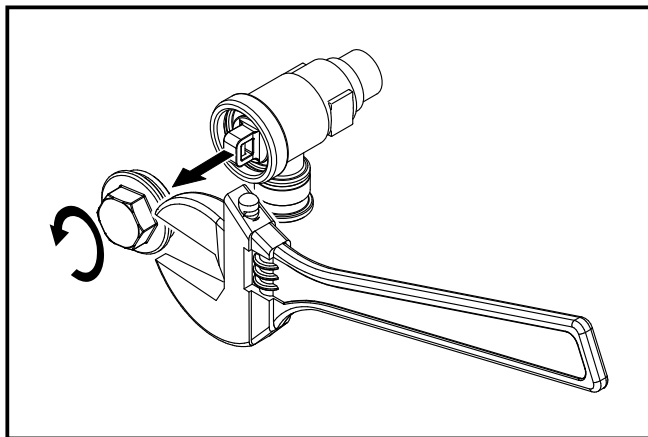
ストレーナーの構造と、清掃に必要な工具は右図の通りです。

※マイナスドライバーではなく、コンビネーションプライヤーを利用することも可能です。



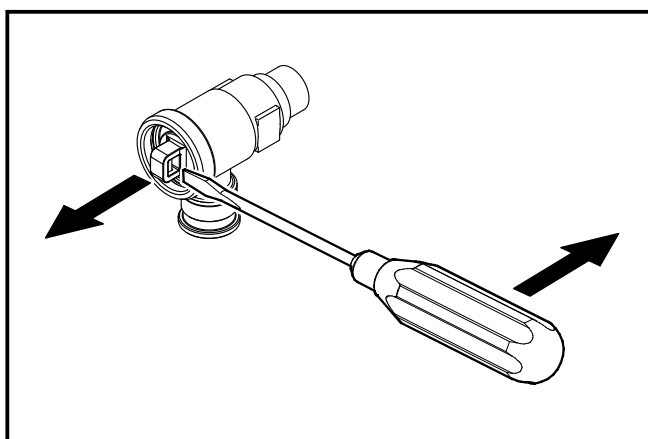
- ① モンキーレンチやスパナ等でストレーナーキャップを回して取り外します。

注：製品上部の空間が小さいなど、設置場所によってストレーナーキャップが取り外しにくい場合は、持ち手の短い工具を使用してください。



- ② ストレーナーの長穴にマイナスドライバーを差し込み、矢印の方向に動かしてストレーナーを外します。

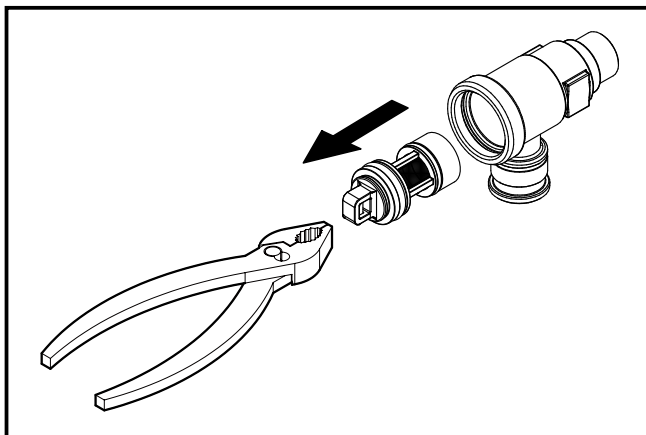
注：ストレーナーを取り外した際に少量の水が出ますので、水を受けるものを用意してください。



取扱説明

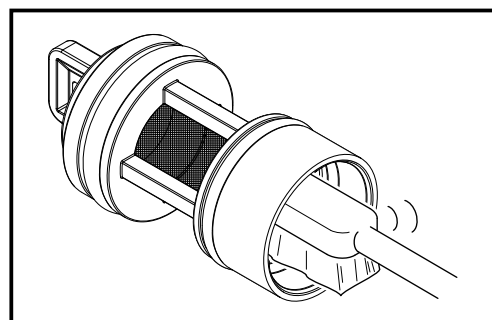
お手入れの方法

- ◆ コンビネーションプライヤーなどを利用する場合は、ストレーナーのつまみ部をつかみ、水平に取り外します。



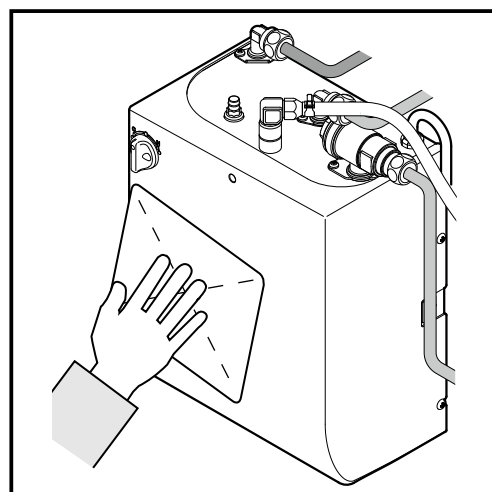
- ③ 取り外したストレーナーのフィルタ部分に詰まったゴミをナイロンブラシなどで取り除きます。
- ④ ストレーナーを取り外しと逆の要領で取り付け後、給水を行い、漏水がないか確認してください。漏水があった場合は再度取り付け直してください。

給水方法は、P.16『温水器に給水する』を参照。



外装のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。



こんなときは

故障かな？と思ったら

温水器が正しく運転しない場合や不調な際の修理ご依頼の前にご確認ください。
ここに記載されている対処を行っても症状が改善されない場合は、P.35 故障状況シートに記載の上、アフターサービス窓口までご連絡ください。

タイマーの操作方法は、付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。

状 況	ご確認ください	対処方法
湯が沸かない 湯にならない	一次側のブレーカがOFFになっていませんか？	漏電ブレーカをONにしてください。
	プラグは確実にコンセントに差し込んでありますか？	確実に差し込んである場合でも、結線部が断線していることもありますので、点検してください。
	運転スイッチまたはタイマーの設定がOFFになっていませんか？	運転スイッチがOFFの場合はONにしてください。タイマーは設定を変えてみて、通電すればセットし直してください。設定方法は付属の「デジタルタイマー取扱説明書」をご参照ください。
	安全装置が作動していませんか？	本機には「空焚き検出」および「過昇温検出」（サーモスタットのトラブル時などに発生するオーバーヒート防止）兼用装置が装備されています。復帰するには原因を取り除いたうえで、管理技術者の方にご依頼ください。（P.33『リセットの方法』参照）
	電圧が誤っていませんか？	100 V の温水器を200 V で使用するとヒーターが断線します。200 V の温水器を100 V で使用することはできません。
	ヒーターの故障ではありませんか？	ヒーターの導通を測ってください。故障の場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。
	停電ではありませんか？	復旧までお待ちください。P.31『停電後の対応について』もご確認ください。
湯温が低いまたは沸き上がり時間が長すぎる	湯を使用した直後ではありませんか？	瞬間式ではありませんので沸き上がるまで時間がかかります。
	逃し弁は正常ですか？湯が逃し管から出続けてませんか？	通電時、ポタポタ出るのは正常ですが常時吹き出しているのは故障です。ゴミがかんていたり減圧弁の故障の可能性もあります。P.26『逃し弁の動作確認』に沿って動作をご確認ください。正常に動作していない場合はアフターサービス窓口までご連絡ください。
	水温が低くありませんか？	秋から冬にかけて水温が急激に下がります。従って沸き上がり時間もかかります。
	湯かげんダイヤルの設定がC（低い）になっていませんか？	P.22『出湯温度の変更方法』を参照し、希望の温度になるよう設定してください。
非常に熱い湯が出る	温水器の自動混合弁が故障していませんか？	自動混合弁が故障している可能性がありますので、アフターサービス窓口までご連絡ください。
瞬間的にお湯の温度が高くなるまたは低くなる	その後のお湯の温度は一定になっていますか？	製品の構造上、お湯をしばらく使っていなかった後の出湯は一時的に設定よりも高い温度（約43℃）が出る場合がありますが故障ではありません。

取扱説明

こんなときは

状 況	ご確認ください	対処方法
湯量が少ない 湯も水も出ない	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	給水量が不足しているのではありませんか？	止水栓が開いていない場合は開けてください。 ストレーナーに詰まりがある場合はP.27を参照し、清掃してゴミを取り除いてください。
	止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開けてください。
混合水栓の水側を開いた時にお湯が出る(水がぬるい)	お湯が出るのは一時的ですか？	沸かし上げ直後や出水を長期間していない場合など、電気温水器の熱が給水配管に伝わり、出水経路の水が温まる場合がありますが、故障ではありません。そのまま流すことにより水になります。
	常時お湯が出ますか？	P.13「配管工事」をご確認し、配管施工に間違いがある場合は施工業者様へご連絡ください。 間違いがない場合はご利用を中止し、アフターサービス窓口までご連絡ください。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか？	設置直後などは工事の際の切削油等が流入することがありますので、水をしばらく出し続けてください。
	長期間の休止後ではないですか？または断水直後ではないですか？	休止後は水の汚れや配管内の錆が出ることがあります。水栓から水を出し続けてタンク内の水を入れ替えてください。
漏水している	本体からですか？	ただちに使用を中止（運転スイッチをOFFに）して止水栓を閉め、電源プラグを抜いた後、アフターサービス窓口までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	各配管接続部を締め直してください。 膨張水の処理配管接続部も点検してください。
温水器本体から音がする	沸し上げ中ですか？	沸し上げ中は湯温の上昇に伴って湯沸器本体から沸し上げ音がする場合がありますが、故障ではありません。
給水時、温水器本体や配管が振動音を発する	給水管に30cm以上フレキ管を使用しているか、配管支持がされていないのではありませんか？	配管を固定していないと水圧の変動「ウォーターハンマー」の影響が直接出ることがありますので、固定してください。フレキ管の場合は給水抵抗を少なくするよう、Rを大きくするなど曲げ方を工夫してください。

停電後の対応について

停電後は、停電が起こったときの運転状態で復帰します。
自動運転中に停電が起きた場合は自動運転で、運転停止中に停電が起きた場合は運転停止状態で復帰します。また、停電後には以下のことをご確認ください。

ご確認ください	対処方法
現在年月日、現在時刻の設定は正しいですか？	正しい場合はそのままお使いいただけます。 誤っている場合は、デジタルタイマー取扱説明書 P.5『現在時刻の設定』を参照し、再設定してください。

その他の不具合およびエラーメッセージについて

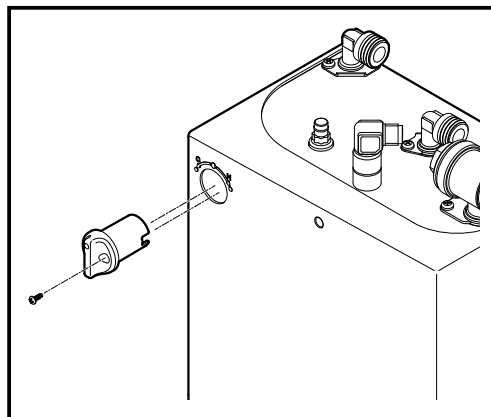
その他の不具合および操作パネルに表示されているエラーメッセージについては、製品に付属のデジタルタイマー取扱説明書をご参照ください。

それでも症状が改善されない場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。

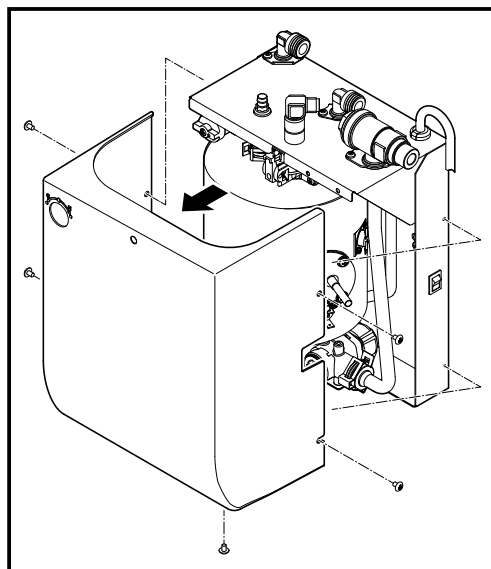
前面カバーの取り外し方法 **管理技術者の方**

※この操作は本機内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

- ①湯かげんダイヤル固定ねじを外し、湯かげんダイヤルを取り外します。



- ②側面 4 ヶ所、底面 1 ヶ所のねじを外し、前面カバーを取り外します。

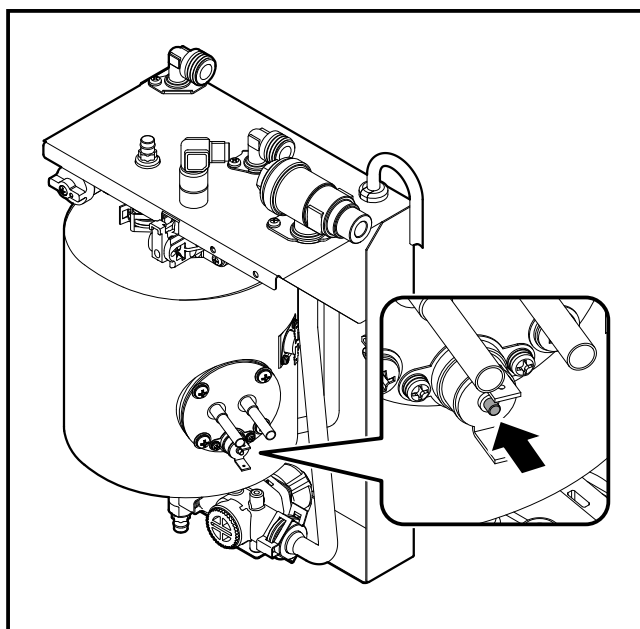


リセットの方法 **管理技術者の方**

※この操作は本機内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。

ESW03(D)には「空焚き検出」および「過昇温検出」(サーモスタットのトラブル時に発生するオーバーヒート防止)兼用装置が装備されています。

何らかの理由で作動し運転が停止した場合には、運転スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから外した後、原因を取り除いたうえで前面カバーを外し、十分に温度が下がってから下図矢印部分の空焚、過昇温リセットボタンを押してください。



アフターサービス

消耗品について

下表に記載する部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため、定期的に交換してください。

部品交換(有償)はアフターサービス窓口までご連絡ください。

部品名		交換時期の目安	交換いただく理由
弁・パッキン	減圧弁ユニット	設置、交換日より 3～5年	長期間で使用いただくことにより、 経年劣化やスケール※による動作不 良や漏水を起こす可能性があります 。漏水が起きた場合大きな被害 を与えることがありますので、交換 することによりそれらを防止します。 (※水道水中のミネラル分が固着した もの。)
	混合弁ユニット		
	ストレーナー		
	逆止弁		
	Oリング・パッキン類		
電装部品	ヒーター	設置、交換日より 5～7年	
	タイマー		
	過昇温防止スイッチ		
	センサー類		
	ケーブル・コード・配線類		
	その他電装類		

※使用頻度、環境によっては交換が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品のご注文はアフターサービス窓口にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.35の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。(型番や製造番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。)

保証票		電気温水器
型番		
貯湯量		
満水質量		
最高使用圧力	0.1MPa	
電源	屋内用	
周波数	50/60Hz	
消費電力		
保証期間	納入後3年間	
製造番号		
株式会社日本イトミック		

取扱説明

アフターサービス

アフターサービス窓口

TEL 〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間：24 時間 365 日（営業時間：8：45～17：45）

一般電話・公衆電話の場合は市内電話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03（3621）2161 関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所にお問い合わせください。

インターネット 〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX 〈FAX 修理受付窓口〉 03-3621-2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。以下故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所へお送りください。（裏表紙に記載）

故障状況シート

貴 社 名		ご 担 当 者 名	
ご 住 所			
T E L		F A X	
製 品 型 番	ESW03 (D)		
電 源、電 力		製 造 番 号	
設 置 場 所		保 証 期 限	
状 態			

取扱説明

MEMO

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から3年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - （1）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・タンク内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - （2）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - （3）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - （4）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - （5）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - （6）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - （7）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - （8）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - （9）電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
 - （12）火災・爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
 - （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様で自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧ください。か、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 日本イトミック

本社・営業本部 TEL : 03 (3621) 2121 (代)
FAX : 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話・携帯電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

市内通話料でOK
ナビダイヤル® **0570-011039**

【ナビダイヤルに関するご注意】

- ※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
- ※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間をおいて再度おかけ直してください。
- ※PHS、IP電話からはご利用になれません。関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所まで直接お問い合わせください。

関東地区お問い合わせ TEL : 03 (3621) 2161
FAX : 03 (3621) 2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。

また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル課 TEL : 03 (3621) 2760
FAX : 03 (3621) 2160

《担当エリアと営業所》

北海道地区 TEL : 011 (615) 6681
北海道営業所 FAX : 011 (615) 7004
〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)
担当エリア：北海道地区全域

東北地区 TEL : 022 (357) 0848
東北営業所 FAX : 022 (357) 0847
〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県

関東・新潟・山梨・静岡地区 TEL : 03 (3621) 2121
(株) 日本イトミック 本社 FAX : 03 (3621) 2130
〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／神奈川県／山梨県／新潟県／静岡県

中部・北陸地区 TEL : 052 (222) 2561
中部営業所 FAX : 052 (222) 2559
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 TEL : 06 (7177) 4949
関西営業所 FAX : 06 (7177) 4948
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 3-1-11 VORT 御堂筋本町Ⅱ 7F
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 TEL : 082 (240) 1361
中国営業所 FAX : 082 (240) 1363
〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 TEL : 092 (481) 3911
九州営業所 FAX : 092 (481) 3930
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。